

山鼻小学校改築ほか工事基本設計

第1回改築検討協議会

2024/8/29

計画地

住所:札幌市中央区南14条西10丁目1
敷地面積: 9,396㎡
用途地域:近隣商業地域・第一種住居地域

周辺の状況

敷地外周部は4面道路に面した敷地となっており、西側は国道230号(石山通)、南側は南14条中央線(行啓通)と交通量の多い道路となっています。また、南側は山鼻公園に面しており、東側及び北側には戸建て住宅・共同住宅が広がっています。

現況敷地及び建物

- ・現在の校舎は昭和47年に鉄筋コンクリート造地上4階建てで建設し、屋内運動場は校舎に内包(3、4階)しています。
- ・校舎は敷地東側、プールは敷地北側、グラウンドは敷地南西側に位置しています。
- ・校舎の主出入口は南側となっています。
- ・西・南・北側には、フェンスが設置されており、敷地内に著しい高低差は存在せず、擁壁も存在しません。
- ・敷地内には、木造校舎時代(大正12年～昭和46年)から存在する「あんずの木」、明治天皇ゆかりの「お声かきの柏の木」、「明治天皇御駐蹕の地の記念碑」のほか、モニュメント2基が存在します。

施設計画概要

既存施設

- ・校舎棟・屋内運動場棟:約5,800㎡
- ・プール棟:約420㎡

改築施設

- ・校舎棟(給食室を含む):7,181㎡
- ・屋内運動場:1,368㎡
- ・児童会館:432㎡

整備諸室

校舎棟

- ・普通教室 :18教室
- ・特別支援学習室:3教室+プレイルーム
- ・特別教室 :7教室(理科室、家庭科室、図工室、第1音楽室、第2音楽室、図書室、教育相談室)
- ・余裕教室 :3教室(特別活動室、生活科室、会議室)
- ・多目的室 :3教室(一般、ICT対応、少人数対応)
- ・管理諸室 :職員室、校長室、印刷室、保健室、用務員室、職員更衣室(男女別)、教材室、物品庫、除雪機置場等
- ・その他 :昇降口、PTA室、郷土資料室、備蓄庫、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレ(男子用、女子用、多目的、職員用)

屋内運動場

- ・アリーナ、器具庫、更衣室(男女別)、体育準備室、開放用玄関、指導員控室

屋外環境施設

- ・教材園、グラウンド用物置

児童会館

- ・事務室、集会室、遊戯室(プレイルーム)、クラブ室、多目的ホール



【 既存建物配置 】

配置計画のポイント

「札幌市小・中学校施設整備基本設計指針」、「山鼻小学校改築ほか工事基本計画」及び敷地の周辺環境や現状建物配置から、施設配置計画を進めるための前提条件を整理します。



安心・安全



経済性



周辺環境との調和



工期・施工計画



屋外環境(グラウンド)

1)安心・安全で機能的な学校

- ・給食運搬車、管理車両の動線と児童の動線を分離します。
- ・屋内運動場は緊急避難施設としての機能性に配慮します。

2)周辺環境との調和

- ・周辺環境への日影が最小限となるよう配慮した校舎とします。
- ・普通教室及び特別支援学習室は日照に配慮し、南面・東面からの採光可能な配置とします。
- ・山鼻地区に調和する校舎デザインとします。

3)屋外環境

- ・グラウンドは最大限面積を確保します。

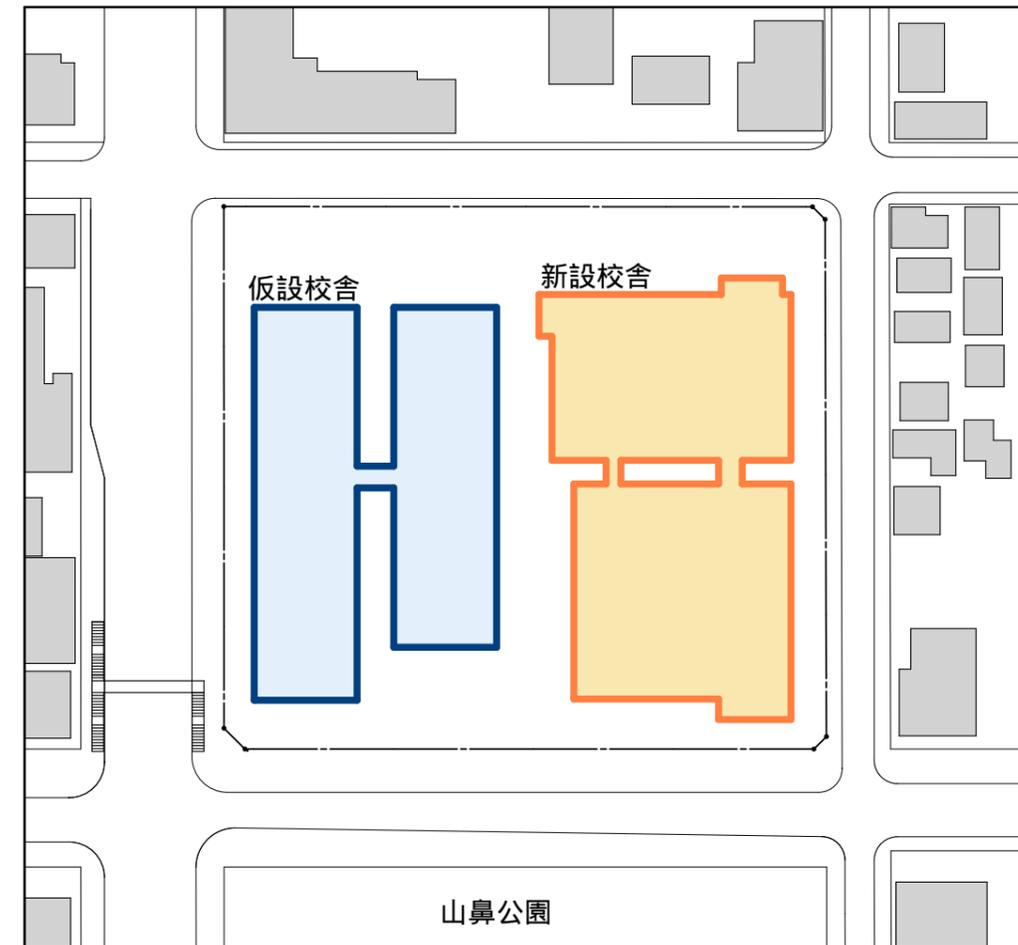
4)経済性

- ・仮設校舎の有無、工事規模、階数など、経済性に配慮した配置とします。
- ・与条件を満たすコンパクトな計画とします。

5)工期・施工計画

- ・児童の学習、活動への影響が最小限となるよう配慮した工期、施工計画とします。
- ・工事中の児童への安全性を確保した工期、施工計画とします。

現在の場所に新設校舎を建替える場合



【 現位置計画図 】

<問題点・課題等>

- ・小学校生活のほとんどを仮設校舎で過ごす児童が生じる。
- ・工期が長くなる。
- ・グラウンドを使用できない期間が長くなる。
- ・北東、東側住宅と校舎が近接している。
- ・引越しが2回となる。
- ・仮設校舎の建設等で多額の費用が必要となる。

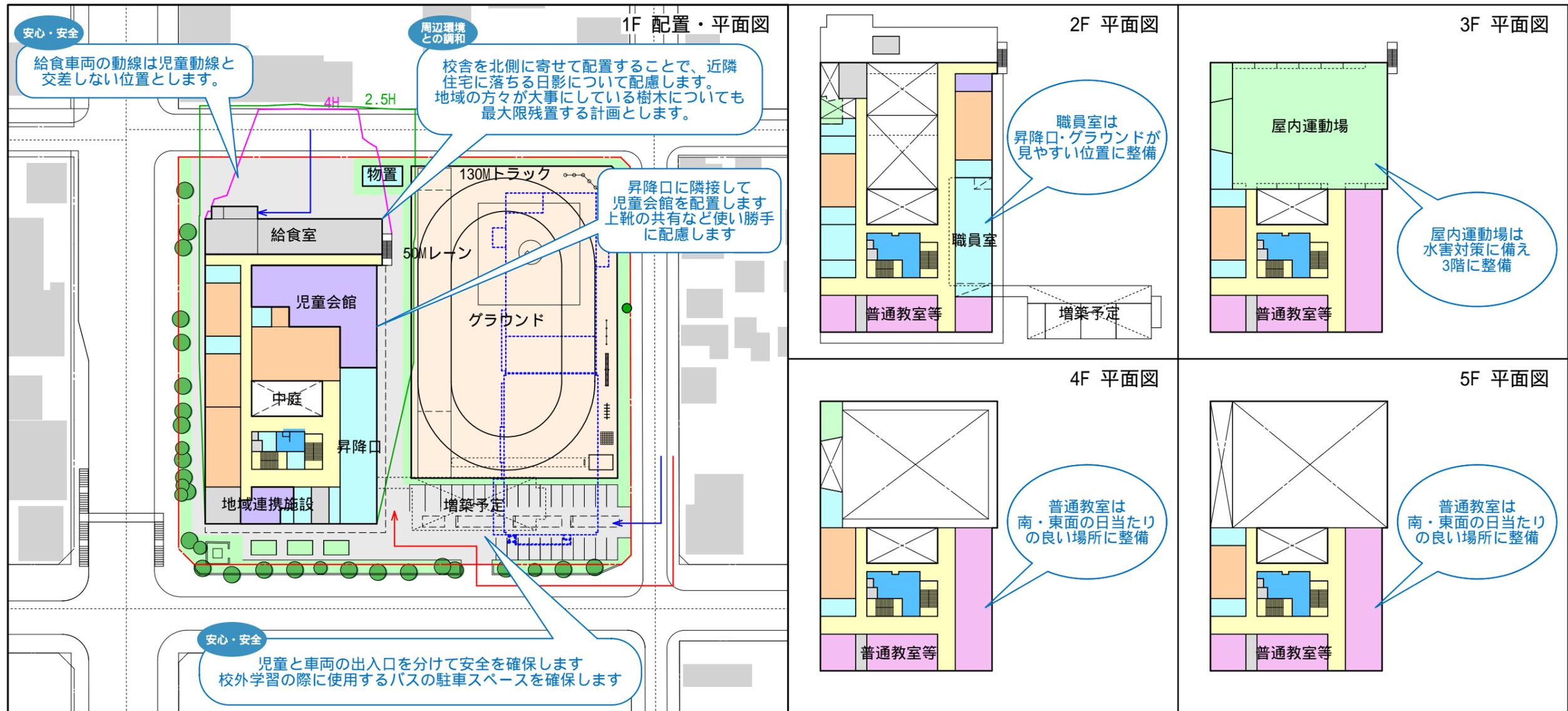
現在と同じ場所に新しい校舎を建設する場合、多くの問題・課題が見られます。



現在と同じ場所には建替えず、敷地内の別の場所に建てる配置について検討を行います。

配置計画案

改築案

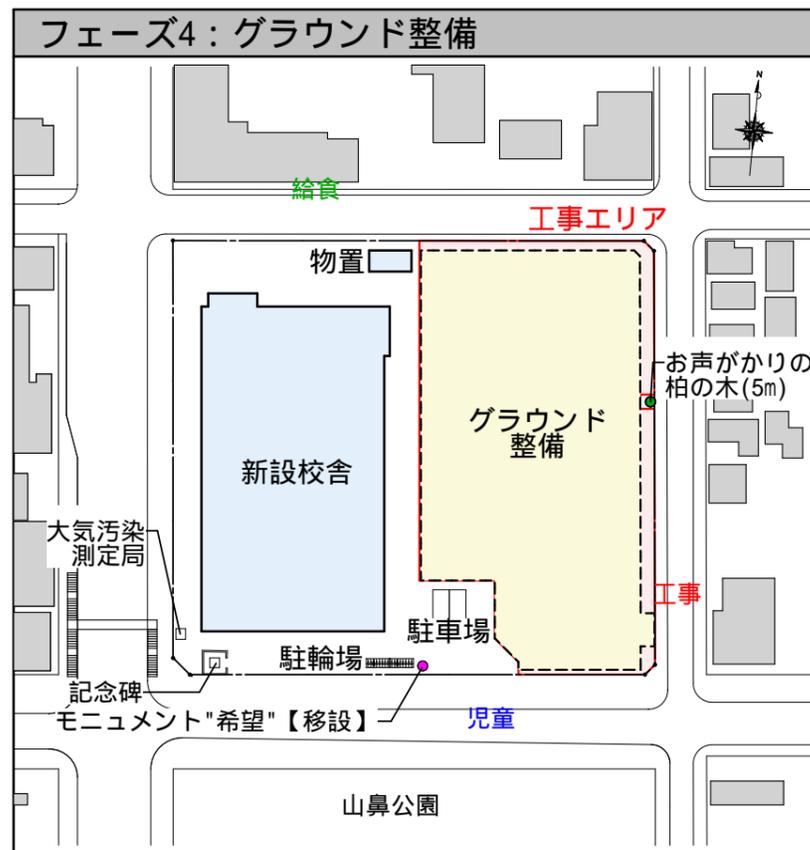
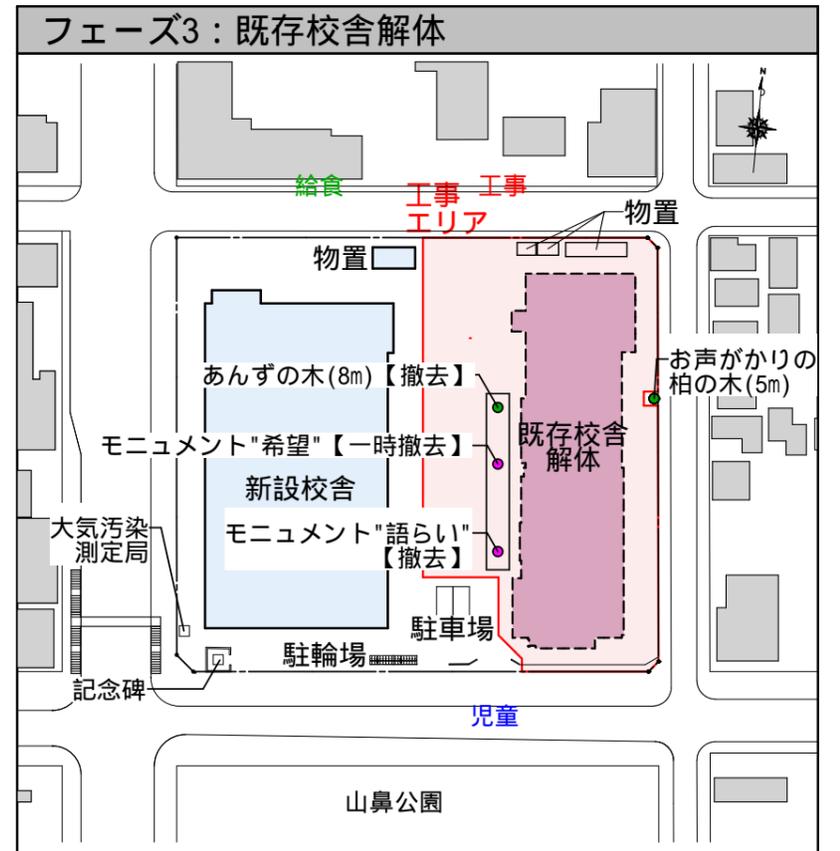
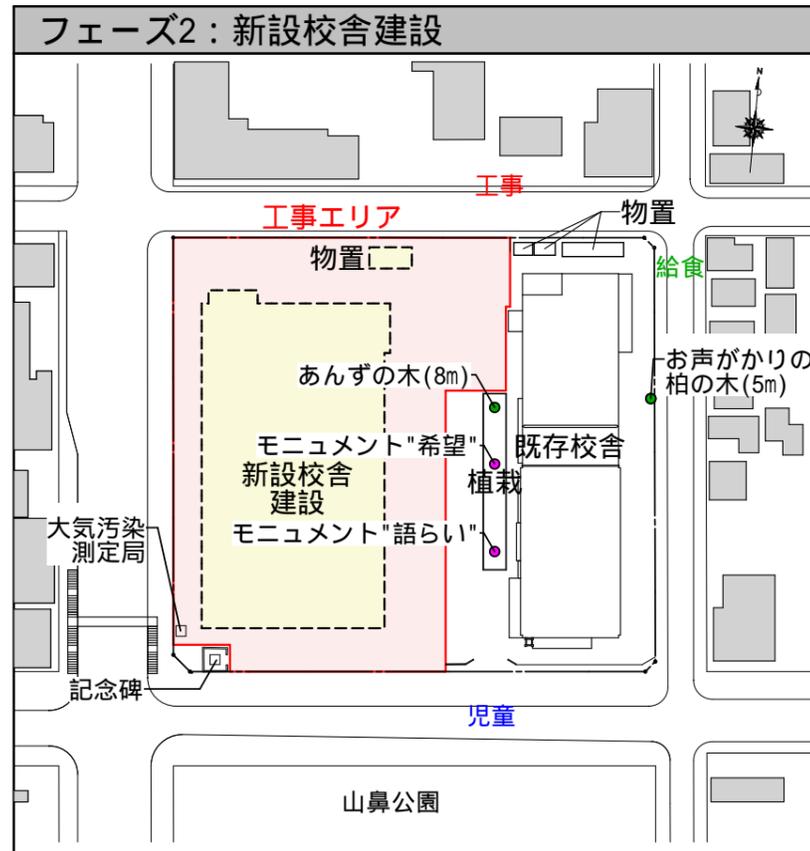
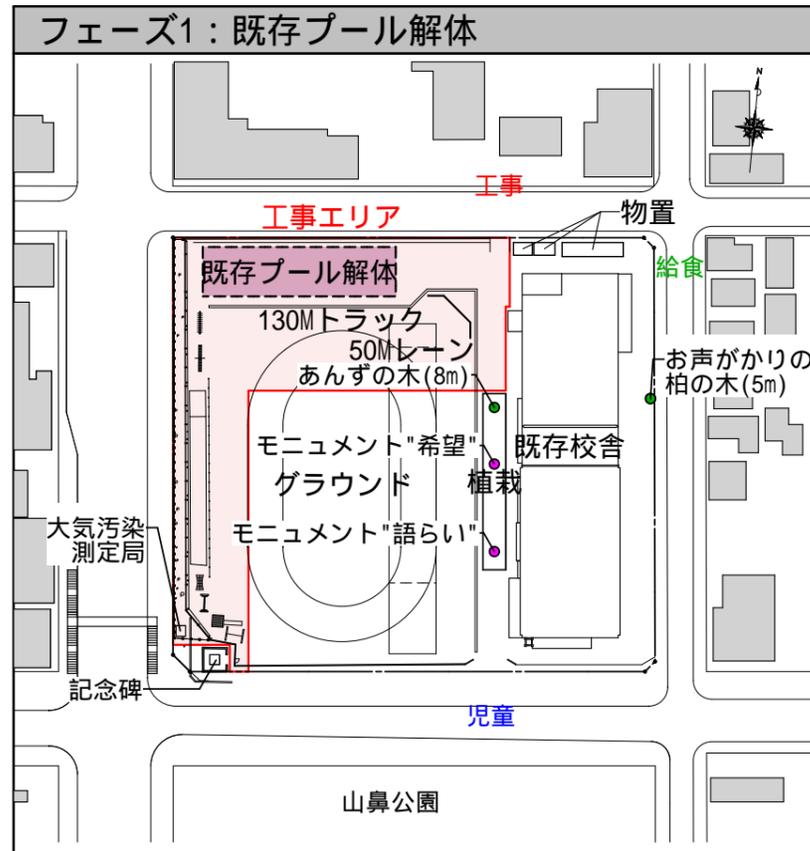


- 安心・安全**
 - 児童の通学動線と車両動線を明確化
 - 水害対策として、屋内運動場を上階に整備
- 周辺環境との調和**
 - 周囲の住宅地に対し配慮
 - 校舎の北側を低くすることで日影に配慮
 - 学校周辺の活かせる樹木はできるだけ維持
- 屋外施設(グラウンド)**
 - 日当たりが良く雪が解けやすいグラウンド
 - 130Mトラック確保、校舎に平行な50Mレーン

- 経済性**
 - 仮設校舎を設けないため、仮設校舎設置による事業費の削減が図れる
 - 無駄なスペースをできるだけ削減した計画
- 工期・施行計画**
 - 仮設校舎を建てる場合より、工期が短い

凡例

	普通教室・特別支援学習室		正門位置
	特別教室・多目的教室		昇降口・一般開放
	管理諸室		車両出入口
	共有スペース		
	水回り		
	その他		
	屋内運動場		
	地域開放		

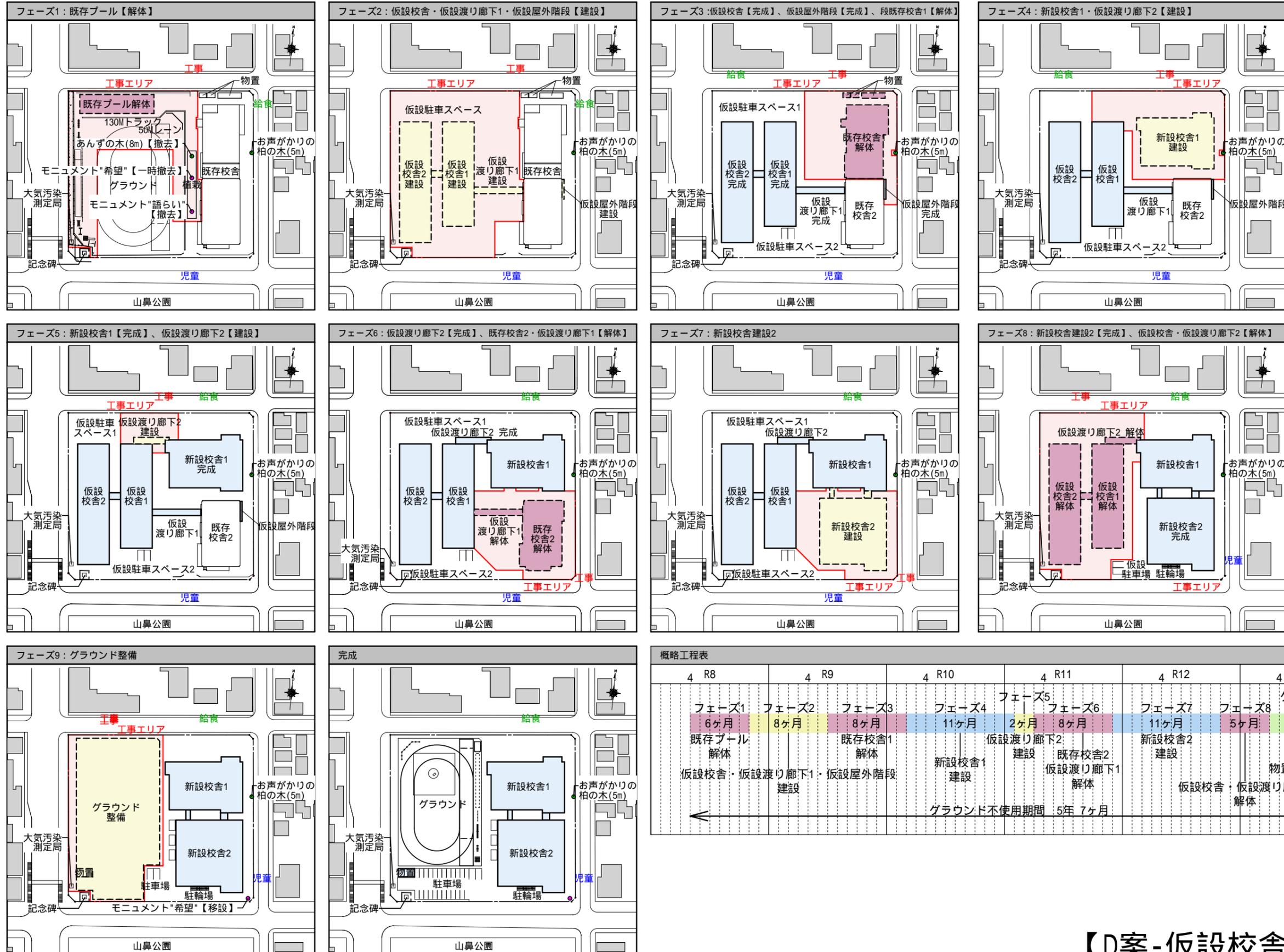


概略工程表

4 R8	4 R9	4 R10
フェーズ1 6ヶ月 既存プール解体	フェーズ2 22ヶ月 新設校舎建設	フェーズ2 3ヶ月 物置設置工事
← グラウンド不使用期間 3年 8ヶ月		
4 R11	4 R12	
フェーズ3 9ヶ月 既存校舎解体	フェーズ4 8ヶ月 グラウンド整備	
→ グラウンド不使用期間 3年 8ヶ月		

【K2案-仮設校舎なし】

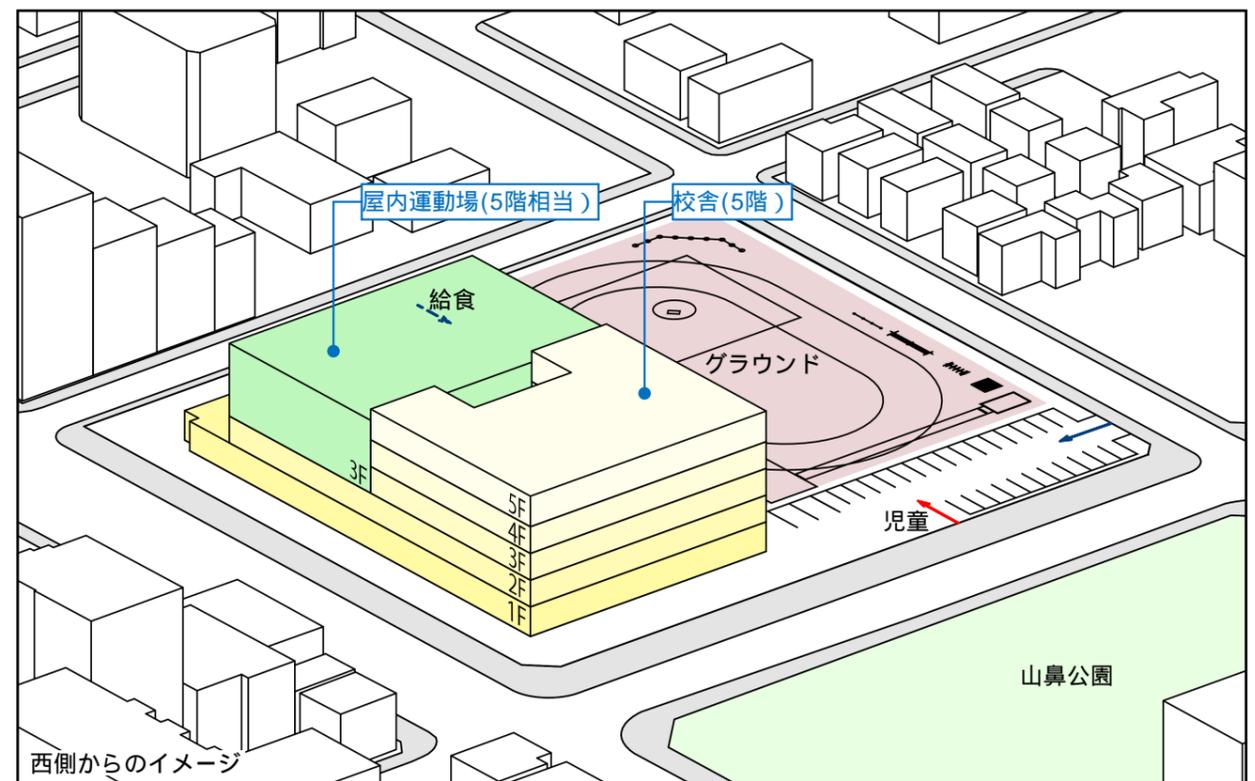
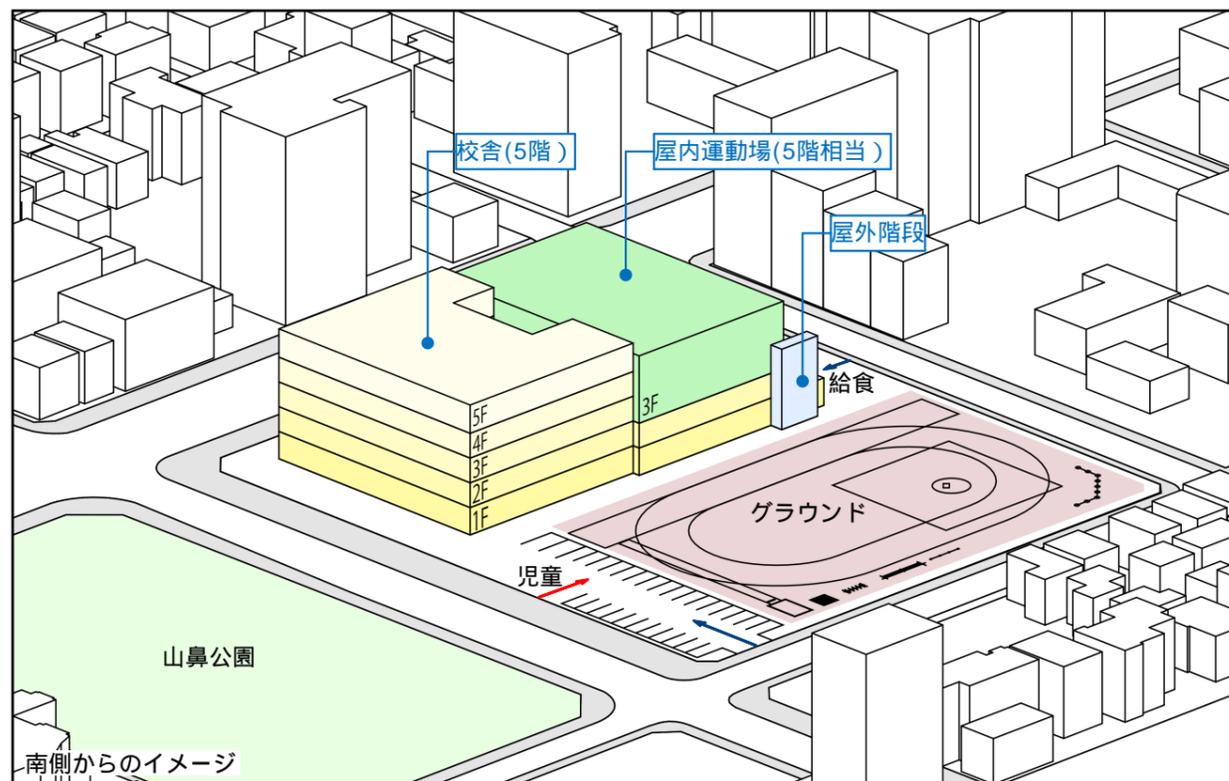
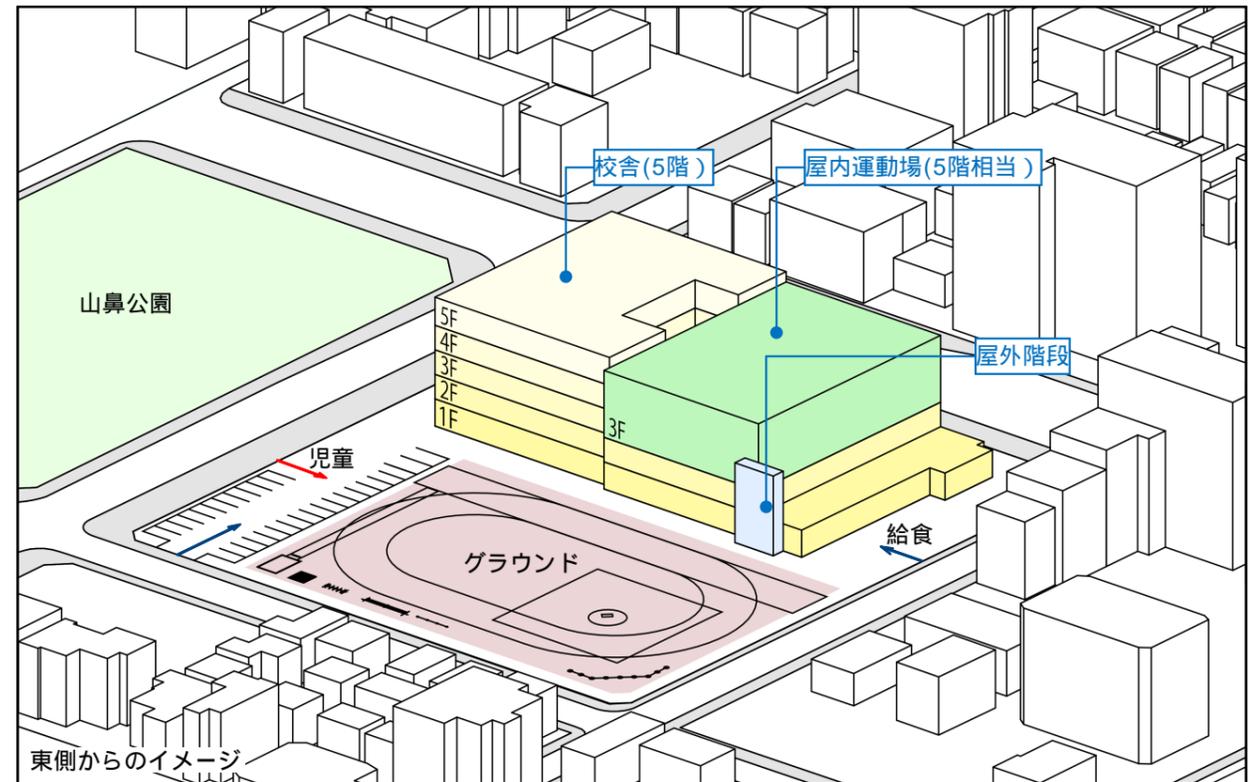
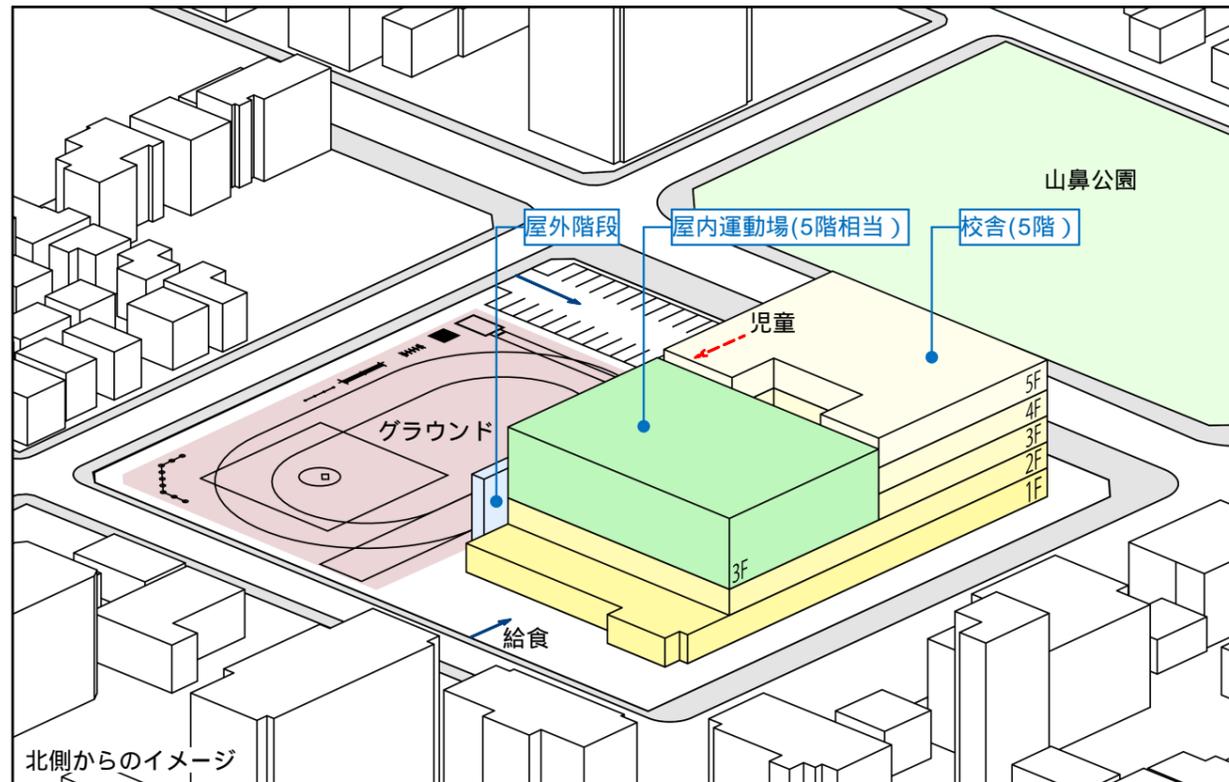
山鼻小学校改築ほか工事基本設計 第1回改築検討協議会



【D案-仮設校舎あり】

完成イメージ図

改築案



イメージ図のため、実際と異なる場合があります